



院長
真崎 雅和



扁平苔癬

口の中気になりますか？ (白くなる口内炎)

口の中、特に頬の粘膜に網状レース状に白くただれたような斑点はありませんか？時には赤くただれた部分や潰瘍を伴うこともあります。舌の側面にも白くただれた部分ができることもあります。舌の表面(舌背)は白い斑点が不規則に多発して、場合によっては互いにくっつきあったりして、地図のようになることもあります。症状としては「熱いものを食べたときのようになりひり感や灼熱感」を訴える方が多いようです。これは扁平苔癬といわれるもので、わが医院でも最近増えているように思われます。

原因ははっきりしませんが間接的な原因としては薬剤や歯科金属、肝炎などと関連した二種のアレルギー反応といわれています。ビタミンAを服用して改善が見られることがあります。悪性ではありませんがまれにある種のがんが発生するという報告もあります。

白板症

舌縁や口腔底(舌の下)の片側一部、あるいは下口唇にできる境界の比較的是っきりとした白い斑点は、白板症といわれ、前がん状態として有名です。早めに切除し、病理検査することが肝要です。

口腔カンジダ

カビの一種であるカンジダは、正常な場合でも常在菌として口の中に存在します(酵母型)。抗生物質やステロイドを服用したり、免疫が低下す

るような糖尿・がん・膠原病などの病気が進んだり、放射線治療をうけたりすると病原性を発揮します(菌糸型)。お年寄りなどで液が減少し口が渴いて、かつ真菌を装着している場合には50%以上の確率でカンジダ症をおこしているといわれています。初期の段階では(ミルクかすのような)はがれやすい白斑が頬粘膜、舌、唇にぼつぼつとできます。長引くとそれらの粘膜が赤くただれ萎縮した状態になり、さらに進むと痛み、灼熱感味覚異常が起こります。さらに慢性化すると舌の表面に厚くはがれにくい苔ができ、白く盛り上がりついでいきます。場合によっては黒くけば立つようになります(黒毛舌)。診断には菌糸型のカンジダ検出が必要です。治療は原因の除去と抗真菌剤が必要となりますが、抗真菌剤は腎障害性があり、長期の服用は好ましくありません。



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:30	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3